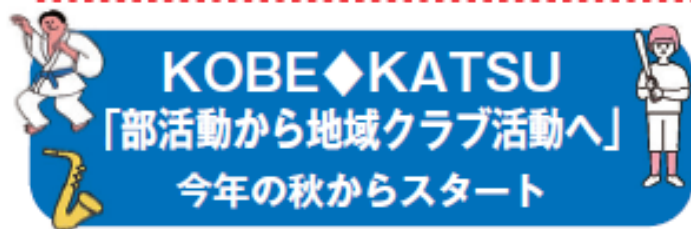


「持続可能なまち神戸」
をめざして



昨年5月に神戸市会第119代副議長に就任してから早いもので7カ月が経過しました。二元代表制の一翼として、議会における責任と役割をしっかりと果たしながら、残された任期を全うしていきたいと思えます。高齢社会に伴う医療や介護、子育て支援対策、空家問題、災害に強いまちづくりなど、神戸市が抱える課題はたくさんありますが、令和8年度予算に向けて議論して参ります。



背景：生徒数の減少等によるやむを得ない廃部や、単独で試合に出られない学校が大幅に増えるなど、今後子供たちの活動の選択肢がさらに少なくなることが危惧されます。また、これまで教員が自身の時間を削り、わずかな手当だけで支えてきましたが、全国的に教員不足が深刻化する中で、部活動の仕組みは限界に近づいています。

現在は活動団体となるコベカツクラブの第2次募集を終えて、約1,000クラブを登録することができましたが、一部の種目や地域では不足している活動があるため、第3次募集を行い現在集計中です。

★保護者の方々の様々な意見を総合的に判断しながら、議会としてもコベカツが子供たちにとって有意義な活動になるように議会の場で意見反映していきます。

※活動場所となる中学校への移動は、自転車の利用を認めています。

中核的医療施設 (商大線 旧垂水養護学校跡地) 産科・小児救急を含めた救急機能を持つ急性期病院

神戸徳洲会病院が優先交渉権者に選任されたが、カテーテル治療等の相次ぐ医療事故で、2024年2月に神戸市より医療法に基づく「行政処分（改善措置命令）」が下され、改善に向けて取り組んだ結果、2025年10月に神戸市より「神戸徳洲会病院の医療安全体制の確立」が公表された。2025年11月に垂水区選出議員団と神戸徳洲会病院との意見交換会を行い、「**産科・小児救急を含めた救急機能を持つ急性期病院は垂水区民が待ち望んでいる。この思いをしっかりと受け止めて、どんなことがあってもこの役割は絶対に果たしていただきたい**」旨の要望をし、病院側からは「**当然ながら役割をしっかりと果たして参りたい**」旨の回答がありました。また、新病院については、建設に向けて市役所等との関係機関と調整、協議を進めていくと回答がありました。

